

6月定例会の内容をおつたえします!

Vol.

91

2026.8

# ふじかわぐちこ 議会だより



## Contents

第2回定例会

一般質問

委員会レポート

議員賛否

議会活動報告

窓・議会見聞録・編集後記



令和8年

# 第2回定例会

………こんなことが決まりました………



## 6月定例会のあらまし

6月議会定例会は、6月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。一般質問に6名の議員が登壇し、議論がかわされました。

提出案件は、報告、承認、条例制定、町道の路線認定、補正予算、工事請負契約の締結、財産の取得、同意案件など23件で、審査の結果、すべて原案のとおり可決しました。

### 報 告

- 令和7年度 富士河口湖町介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書（第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画策定に係るニーズ調査及び策定支援業務委託事業）
- 令和7年度 富士河口湖町水道事業会計予算繰越計算書（県道富士河口湖線・町道3142号線排水本管布設工事・県道富士河口湖線2路線排水本管布設工事）
- 令和7年度 河口湖簡易水道事業会計予算繰越計算書（大石配水池場内配管更新工事・新尾祖場水源さく井工事・浅川地区新尾祖場配水場建設工事実施設計業務委託）
- 令和7年度 足和田簡易水道事業会計予算繰越計算書（県道青木ヶ原船津線排水本管布設工事）
- 令和7年度 富士河口湖町温泉事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書（第4源泉施設整備事業）
- 令和7年度 富士河口湖町一般会計予算繰越明許費繰越計算書
  - ・非常用発電機更新事業
  - ・住宅団地造成助成金交付事業
  - ・戸籍システム・戸籍附票システムの標準準拠移行作業委託事業
  - ・戸籍の附票及び住民記録システムへの振り仮名記載に係るシステム改修事業
  - ・西湖南ゲートボール場東屋新設事業
  - ・食材高騰臨時保育所給食費無償化事業
  - ・物価高対応子育て応援手当支給事業
  - ・くらし応援商品券（物価高騰対策生活応援商品券）事業
  - ・路面標示事業
  - ・船津急傾斜法面対策事業
  - ・橋梁長寿命化事業
  - ・舗装修繕事業
  - ・一般道路新設改良事業
  - ・総合公園トイレ更新事業
  - ・防災行政無線子局更新事業
  - ・河口湖ステラシアター機能強化施設整備事業
  - ・ステラシアター駐車場整備事業
  - ・食材高騰臨時学校給食費無償化事業

### 専決処分

- 富士河口湖町税条例の一部改正  
【内容】地方税法の改正による
- 富士河口湖町国民健康保険税条例の一部改正  
【内容】地方税法施行令の改正による

### 条例制定

- 富士河口湖町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定  
【内容】乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施するための、国の特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準に基づく条例の制定

### 町道の路線認定

- 路線番号・路線名称：6550  
起点(番地先)：勝山字上長塚2461番3  
終点(番地先)：勝山字上長塚2461番12  
幅員：6.00m～10.16m  
延長：79.72 m  
【内容】開発行為に伴う道路部分の町道認定

### 工事請負契約の締結

- 大石公園トイレ新築工事  
契約金額：5,621万円  
契約の相手：株式会社 梶原工業所

### 財産の取得

- 消防自動車  
取得金額：2,783万円  
取得の相手：有限会社 井出デバリ商店
- マイクロバス  
取得金額：1,078万円  
取得の相手：株式会社 ファミリーオート

### 同意案件

- 本栖財産区管理委員 いとう ゆきお  
伊藤 幸雄
- 富士ヶ嶺財産区管理委員 はぎわら けんいち  
萩原 健一
- 大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区管理委員 いとう ゆきお  
伊藤 幸雄



……………こんなことが 決まりました……………



## 一般会計補正予算(1号・2号)

### 小立保育所建設事業



**4億2,320万円**

……………  
世界情勢による建設資材の高騰等を踏まえ、資材等を確保したうえで、工事を円滑にスタートします。

### 生涯学習館 木製柱改修事業



**197万円**

……………  
経年劣化した当館西側の木製柱を改修します。

### 勝山ふれあいセンター 空調改修工事



**1,144万円**

……………  
2階研修室及びエントランスのエアコン改修工事を行います。

### 《その他の補正事業》

- 民間保育所施設等整備事業費補助金 **1,888万円**
- 町営大嵐団地受水槽改修事業 **264万円**
- 船津小学校ステップルーム  
(校内教育支援センター) 設置事業 **53万円**
- 精進湖カヌー救助艇(2艇) 修繕事業 **117万円**
- 第2源泉揚湯ポンプ入替工事 **407万円**

## 4月から6月までの 議会の動き (一部掲載)

### 4 月

- 10日 議会広報常任委員会
- 13日 南北都留郡町村議会  
正副議長連絡協議会定期総会
- 14日 町村議会広報編集委員長会議
- 15日～16日 監査委員特別セミナー
- 17日 議会広報常任委員会
- 25日 北富士駐屯地創立66周年記念行事

### 5 月

- 12日 町村議会議長会議
- 14日 町村議会運営委員長会議
- 20日～21日 議員県外視察研修
- 22日 自治功労者表彰式・町村議会議員研修会
- 26日～27日 町村議会議長・副議長研修会

### 6 月

- 2日 議会運営委員会・全員協議会
- 4日 町村監査委員協議会定期総会・監査委員研修会
- 9日～16日 第2回定例会
- 25日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会定例会



一般質問者 五味 菊広

# 一般質問

みんなの<sup>Q</sup>  <sup>A</sup>  中々?

## 不妊治療の助成制度

**Q** 現在町が実施している不妊治療助成の利用状況と課題は。

**A** 子育て支援課長  
直近3年間の利用状況は、概ね年23件前後。  
課題としては、治療費の負担や保険適用範囲の制限による経済的課題、不妊治療の成功率や身体的負担に関する医療的な課題、さらに、精神ストレスや社会的プレッシャーといった心理的・社会的課題があると認識している。

**Q** 不妊の検査や治療の経験がある夫婦は、約4.4組に1組、生まれる子どもの約10人に1人が体外受精などの生殖補助医療によって誕生しており、不妊治療は広く行われる医療。治療内容によっては高額な個人負担が生じる場合もあり、治療を断念する夫婦も大勢いる。今後、不妊治療助成のさらなる充実を図る考えがあるのか。

**A** 子育て支援課長  
今後、治療費の負担により諦める夫婦や子どもを望む夫婦のためにも、町の利用状況を踏まえたなかで、助成内容の充実について研究したい。

## 富士山防災の拠点施設の移転

**Q** 富士山防災の拠点施設及び富士山科学研究所の移転について、知事が河口湖北岸を検討している旨の発言をされているが、現在、町では県の動向をどのように把握しているのか。

**A** 地域防災課長  
山梨県が所有する富士山科学研究所の移転について、立地的に大石地区を現在検討しているようだ。移転先として、大石地区の若彦路沿いの改良区地内で検討していると聞いている。

## 大石出張所の移転の進捗状況

**Q** 事業は進んでいると思うが、その進捗状況と今後の見通しは。

**A** 地域防災課長  
現在、移転場所の案、用地取得に伴う土地収用法による山梨県との打ち合わせを先月行い、今後具体

的な施設の詳細を決め、住民説明会を行い、事業を行う運びとなると考えている。

## 教育環境の現状と課題

**Q** 各学校の教育環境の現状の認識と課題をどのように捉え、改善につなげていくのか。

**A** 教育長  
県の教職員定数に加え、町の予算で教員や学習支援員、ALTなどを配置し、複式授業の解消や、教科ごとに習熟度別学習を展開している。また、児童生徒指導上の課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーや就学相談員の巡回体制を強化している。

本町の教育環境・人員体制またICT活用は、県内他市町村と比較し、手厚い教育予算と人材配置より物的・人的に恵まれていると感じている。

課題としては、不登校傾向ある児童生徒への支援や、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、専門性の高いスタッフを安定的に確保し、組織的な対応力を高めていくこと、また、ICTにおける課題は、教員によって活用能力に差が生じないよう、研修の充実やICT支援員の有効活用により教員の指導力向上を図ることが、重要であると認識している。

## 新ゴミ処理場建設の進捗状況

**Q** 令和14年供用開始の新ゴミ処理施設建設は将来世代に関わる極めて重要な事業。現在の建設の進捗状況は。

**A** 環境課長  
施設整備工事は、令和8年度末に落札者を決定し、令和9年度中の工事着手を予定、令和14年度4月からの施設運営を目指し、構成12市町村が協働し進めている。

**Q** 新しいゴミ処理施設の整備に伴い、分別方法やリサイクル体制が、現行と比べどの程度変更となる見込みなのか。

**A** 環境課長  
新たに資源物としてカン・ビン・プラスチック類・ペットボトル、また、危険物として乾電池やスプレー缶等のステーション収集を計画している。今後さらに、廃棄物及び資源物の、より詳細な受け入れ基準等を協議していく予定。

## 大石公園西側の公園整備

**Q** 大石公園西側の公園整備について、住民の意見を反映する機会をどのように設けていくのか。

**A** 都市整備課長  
大石公園西側の公園整備は、基本構想を検討している。この基本構想がまとまったところで地域住民の方を含め、広く意見を求める場を設けることを考えている。





一般質問者 渡辺 昭一

# 一般質問

みんなの<sup>Q</sup>  <sup>A</sup>   

## インバウンド対策

**Q** 外国人観光客の増加に伴い、河口湖周辺では渋滞やごみ問題などが発生している。宿泊税も活用しながら、西湖・精進湖・本栖湖への観光客分散や体験型・高付加価値観光商品の創出など、具体的な取り組みは。

**A** **観光課長**  
西湖・精進湖・本栖湖への周遊観光を推進する。体験型コンテンツや地域資源の磨き上げ、イベント活用により回遊性を高め、「量から質」への転換による持続可能な観光地づくりを進める。

**Q** 外国人観光客とのトラブル防止には、ルールやマナーの事前周知が重要である。多言語表示や「やさしい日本語」、動画・SNSの活用、宿泊施設等との連携によるマナー啓発について町の考えは。

**A** **観光課長**  
今後は多言語サイトやSNSでのマナーガイド発信を強化し、QRコードやスマートフォンを活用した「旅マエ・旅ナカ」の啓発を進め、関係団体と連携して観光マナー向上に取り組む。

**Q** 宿泊税を活用し、観光分散化や混雑対策、観光マナー向上を町の重点施策として明確に位置付け、優先的に取り組む考えがあるのか。

**A** **町長**  
宿泊税を活用し、観光と住民生活が調和した持続可能な観光まちづくりを推進する。第3次観光立町推進基本計画の4本柱のもと、質の高い観光地を目指す。

## 鳥獣被害対策とジビエ活用

**Q** 捕獲したシカやイノシシを地域資源として活用し、「富士山麓ジビエ」のブランド化を進めることで、農業・観光・地域経済の活性化につなげるべきと考える。処理体制や流通・販売体制の整備、富士山ブランドとの連携、多用途展開を含めた今後の方針は。

**A** **農林課長**  
令和7年度はシカ754頭を捕獲し、141頭を処理して約1,058kgを商品化した。需要は高いものの処理能力や人材不足が課題である。今後は処理体制を強化し、「富士山ブランド」として販路拡大とブランド化を進め、

地域経済や観光振興につなげていく。

**Q** ペットフードや加工品など多用途展開を見据え、処理機能の強化や施設の更新・再整備について、将来的な方向性は。

**A** **農林課長**  
地域おこし協力隊を活用した人材育成と技術継承を進めるとともに、ペットフードや加工品への展開を推進する。関係者との連携を強化し、施設機能の向上や設備更新を進め、処理能力向上と販路拡大に取り組む。

**Q** ジビエ活用を具体的な施策として積極的に推進していくのか、町の基本的なスタンスは。

**A** **町長**  
認証基準に基づく衛生管理のもと、安全で高品質な鹿肉の供給を行っている。今後は真空パック加工による商品力向上に加え、ふるさと納税返礼品、ペットフード、加工食品への活用を進め、「富士山ブランド」として販路拡大と高付加価値化を推進していく。

## くぬぎ平スポーツ公園の整備

**Q** くぬぎ平スポーツ公園は人工芝化により交流人口創出の拠点として期待されるが、進入路やクラブハウス、トイレの老朽化などの課題もある。今後の施設整備の方向性は。

**A** **生涯学習課長**  
人工芝化により利用者は増加し、令和7年度は401団体・52,652人が利用するなど成果を上げている。一方で、進入路や駐車場、クラブハウス、トイレの老朽化が課題であり、段階的な修繕・整備を進めている。

**Q** 西側進入路の未舗装区間や雨水による路面損傷、東西道路の凹凸などアクセス環境に課題がある。スポーツ合宿誘致競争が激化する中、利便性向上のため、今後どのように取り組むのか。

**A** **都市整備課長**  
未舗装道路の浸食や凹凸により、安全性・利便性に課題が生じていると認識している。今後は現地状況や排水機能、維持管理費用などを検討しながら、関係課と連携し、適切な道路整備や舗装整備のあり方について研究・協議を進める。

**Q** スポーツツーリズムの推進には施設利用だけでなく、宿泊・飲食需要の創出など地域への経済波及が重要である。宿泊施設や地域事業者とどのように連携し、地域全体の活性化につなげていくのか。

**A** **観光課長**  
くぬぎ平スポーツ公園をスポーツツーリズムの拠点として活用し、合宿や大会誘致による宿泊・飲食需要の創出を図る。富士山の景観や冷涼な気候等地域の強みを活かし、地域事業者と誘致活動や観光・体験プログラムを進めることで、交流人口の拡大、関係人口の創出、地域経済の活性化につなげていく。



一般質問者 中村 正明

# 一般質問

みんなのキンマン?

## EL-QR事業

**Q** 本年度新たに予算化されたEL-QR事業は、行政のデジタル化と町民サービス向上に資する重要な施策。地方税統一QRコードの利用状況を町ではどのように把握・分析し、利用件数や利用割合をどのように評価しているのか。

**A** 税務課長  
令和6年度の地方税QR納付は13万7,395件中2万7,525件で利用率20%、利用は年々増加している。町民の利便性向上に効果があり、今後は税以外の公金への対象拡大を検討していく。

**Q** QRコード納付の利便性は高いと感じている。これまで実施してきた広報や納付書への記載、窓口案内などの周知策のうち、特に効果があった取り組みと、その成果は。

**A** 税務課長  
ホームページや広報、窓口案内に加え、納付書同封チラシや封筒へのQRコードを印字した事が効果を上げている。利用率は令和5年度15.5%から令和6年度20.0%へ上昇し、今後も周知と利用促進に努めていく。

**Q** 税以外の公金へのQRコード拡大にあたっては、高齢者への支援や分かりやすい案内など、誰一人取り残さない視点が重要。今後の推進方針と、安心して利用できる環境整備は。

**A** 地域防災課長  
税以外の公金は370種類以上あり、今後各課と調整し対象拡大を進める。周知や対面支援を充実させ、住民の利便性向上と業務効率化に取り組んでいく。

## 河口湖の渇水

**Q** 近年、河口湖では渇水傾向が進み、湖岸の露出や景観変化が見られる。観光、農業、住民生活に大きく関わる重要課題であることから、本町として各分野への影響をどのように分析し認識しているのか。

**A** 町長  
河口湖の水位低下、いわゆる渇水傾向については、町としても憂慮する事態であることは承知している。近年は、降水量や降雪量の変化、気温上昇による蒸発量の増加など、気候変動の影響も指摘されており、湖

の水環境を取り巻く状況は、これまで以上に不安定化しているものと受け止めている。

河口湖は本町を代表する景観資源であり、富士山と湖が一体となった風景そのものが、本町観光の大きな魅力となっている。そのため、水位低下に伴う湖岸の露出や景観の変化は、観光地としてのイメージに少なからず影響を及ぼす可能性があるものと認識している。

また、遊覧船や、釣り、カヌーなど、湖を活用した観光・レジャー事業への影響、また、9月に開催予定のトライアスロン競技、ボート競技などスポーツイベントへの影響も心配されているところで、今後の降雨状況や渇水の進行によっては、農業への影響も考えられる。また、河口湖には全国でも希少な生態系も見られ、それらに与える影響も懸念される。

先日の台風と梅雨入り後の降雨により、少しずつ水量が回復してきており改善に期待している。今後も状況を注視し、関係機関と連携しながら対応していく。

## 有害鳥獣対策の緊急対応体制

**Q** クマ等の緊急対応について、出動手当や捕獲報奨金の現状、事故・負傷時の補償体制はどのようになっているのか。また、担い手確保の観点から、現在の待遇水準に対する町の課題認識と今後の考えは。

**A** 農林課長  
イノシシ・クマの捕獲には報償金や出動手当、公務災害補償制度を設け、県補助も活用し安全確保に努めている。狩猟者数は増加し若返りも進んでいるが、緊急対応では高齢者への依存が課題と認識している。

**Q** 猟友会員の負担集中や地域差、経験・技術の継承などの課題を踏まえ、今後、猟友会や県、警察など関係機関との連携をさらに強化し、より安定した緊急対応体制を整備していく考えは。

**A** 農林課長  
町では、職員による現地確認を基本に、猟友会や警察と連携して対応している。県の緊急銃猟対応マニュアルを踏まえ、連絡体制や役割を明確化し、関係機関との連携を強化して、より迅速で安全な緊急対応体制の構築を進めていく。

**Q** クマやイノシシ対策は住民や観光客の安全に直結する重要課題。現場の声を丁寧に聞き、猟友会や関係機関と必要な支援を整理し、次年度以降の予算編成で検討していく考えがあるのか。

**A** 農林課長  
クマやイノシシとの共存と住民の安全確保のため、捕獲檻やクマスプレー、防護装備などを整備してきた。今後も現場の声や先進事例を踏まえ、必要な装備や支援体制の充実に努めていく。





一般質問者 楽満 一生

# 一般質問

## 第1次富士河口湖町DX計画における「防災DX」の進捗と課題は

**Q** 現在まで取り組んできた富士河口湖町の防災DX対策の実績、そして課題は何か、町の現状分析は。

**A** 地域防災課長  
町では防災情報発信アプリ、エリアメール、IP無線、ドローン、防災備蓄管理システム、B-PL0などを活用。防災アプリには、町からのお知らせ機能や、避難所案内、富士山火山避難マップ、ハザードマップなどの防災マップ機能、防災マニュアル、安否確認の機能を搭載している。現在9,293名がダウンロード済み。また、エリアメールは、NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話へ強制的に緊急情報を送ることができるシステムを活用。一斉連絡に強いIP無線は、町役場関係、町内保育所、小・中学校、消防団に合計70台配備している。ドローンの活用実績は現在ない。課題は、防災情報発信アプリの今後の普及対策、避難所開設時のマイナンバーカード活用による受付対応などがあると考えている。

**Q** 今後は、防災DXを活用し、多様化するコミュニティでの小規模避難所対応や避難訓練なども盛り込んでいく必要があると思うが町の対応は。

**A** 地域防災課長  
小規模な団体でできる避難訓練については、先進地の状況を調査研究していきたい。

## 未就学児童から高校生までの切れ目のない読書推進活動を町で支援を

**Q** 当町での学校司書の配置や活動状況、司書教諭の役割、児童数に対する蔵書充実施策の現状と課題は。

**A** 学校教育課長  
学校司書を各小・中学校に配置。大石小と河口小、西浜小と北中、大嵐小と富士豊茂小、勝山小と勝山中は、1名の司書が2校を受け持つ兼務体制。課題は年々複雑化、多様化する教育ニーズを踏まえた蔵書の更新や、活字離れとデジタル化が進行するなかで、児童・生徒に読書の楽しさや重要性を認識させることが重要であると考えている。

**Q** 当町で行っている乳幼児から未就学児童を対象にブックスタート、セカンドブック、サードブックなどに加え、小・中・高校入学時に図書をプレゼントする事業の拡大はできないか。まずは、言語と知能が急激に発達していく小1の壁を迎える5歳児に本をプレゼントする読書推進事業の拡大はできないか。

**A** 生涯学習課長  
町は10か月健診時に読み聞かせ用の本1冊を贈呈するファーストブック、1歳6か月健診の際に絵本を1冊贈呈のセカンドブック、3歳児健診時に絵本を1冊贈呈のサードブックの取組を行っている。5歳児の読書の支援については、子育て支援課と共に他地域の取組事例も参考としながら研究していく。

## 外国人児童生徒等への教育支援課題に町は対応しているか

**Q** 当町の日本語教育を必要としている児童の対象者は何人か。対象者に日本語指導教育、授業サポートはどのように行われているのか、現状と課題は。

**A** 学校教育課長  
現在、町内の小・中学校に在籍する日本語指導が必要とされる児童・生徒は、船津小に7名、河口小に4名、湖南中に4名の計15名。日本語指導教員は、今年度より1名の指導者が常勤。船津小を拠点とし、それ以外の小・中学校でも日本語指導を行っている。日本語指導のための各種教材、教具をそろえた。課題は、児童・生徒の日本語習熟度や母語の違い、一人一人の状況に応じた対応をしていくことの難しさがあると認識している。

**Q** 現在の日本語指導教員1名が15名へ指導する体制では、今後日本語教育を必要とする児童増に対応する学習環境の充実には難しい。今後の具体的な日本語指導支援体制計画を他自治体の先行事例を参考にして、作成する時期にきていないか。

**A** 学校教育課長  
日本語指導体制は、日本語指導が必要な児童・生徒の数や分布の実態に応じて、山梨県が全県的に構築しているものである。町としては引き続き町の実情を県に共有しながら、連携して対応に当たっていく。先行自治体の例も参考とし、当町としての要日本語指導、児童・生徒の支援体制について検討、研究し、教員、支援員と共有していく。





一般質問者 渡辺 美雄

# 一般質問

## 町の開発行為とその適正化に関する条例等

**Q** 開発面積が1000㎡以上の案件は土地利用審議会での審議となる。審査をする中で問題も出てきており、条例変更の必要性を感じている。開発申請の内、上水道敷設区域内での井戸水利用は6件もあるが、許可を出した理由と今後の監理方法は。

**A** 水道課長  
給水区域内で井戸の掘削は原則制限しているが、周辺住民への水圧等影響が見込まれる場合には井戸掘削となる。過剰な地下水の汲み上げや排水管理を指導していきたい。

**Q** 井戸掘削後の地下水使用について個人は別だが、事業者に対しては課金したらどうか、といった意見がある。条例変更も含め町の考えは。

**A** 水道課長  
事業者に対する課金等条例改正については、関係法令との整合性や法的課題等慎重に精査していく必要がある。

## 産業廃棄物処理や不法投棄等に関する環境対策

**Q** 産業廃棄物や不法投棄されたごみの処理は理不尽な事だが、その土地の所有者が処理しなければならない。町では産廃やごみの不法投棄をどの程度把握し、どう対応して来たのか今後の対策も含めて伺う。

**A** 環境課長  
県と連携した不法投棄の調査を実施しており、県道・町道についても対応している。

**Q** 産廃等のごみで一番の心配事は人体に有害な物や発がん物質が、有るのか無いのかだ。山梨県との連携は大事だが、町独自の対策も必要である。町の考えは。

**A** 環境課長  
不法投棄は重大な違法行為。注意喚起の看板設置などを随時行っていく。

**Q** 廃棄物の中に有害物質があったとすれば、雨水等により地下に浸透し続けている。町独自で調査を行い世界遺産に相応しい自然環境を維持している

と宣言してほしいが、町長の考えは。

**A** 町長  
当町の水源については安全であると考えている。調査結果は町のホームページで公表中。

## 富士山の水

**Q** 富士山は年間20億～30億トンの降水を地下水として蓄える天然の給水塔。

その富士山と地下にある銘水は住民が生きる為の水であり、地域の貴重な財産である。町ではこの大切な地下水の保全と汚染対策にどう取り組んでいるのか。

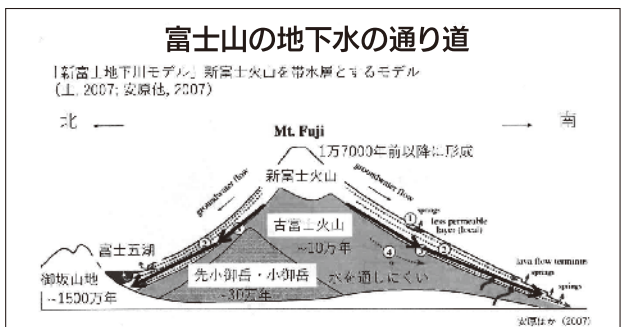
**A** 水道課長  
地下水保全条例を制定し、揚水量を確認する機器の設置を義務づけている。また原水の水質検査を毎年実施している。

**Q** 民間業者が富士山の水を販売するにあたり、富士山と銘水保全のためとして負担金を頂いたらどうか、といった住民からの意見もあるが、町の考えは。

**A** 水道課長  
先進的な自治体の動向を注視していきたい。

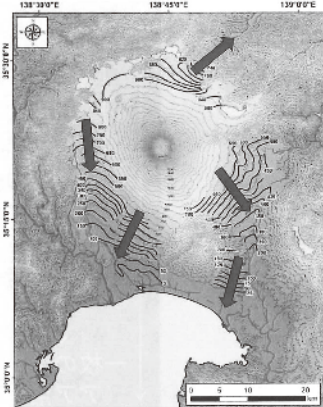
**Q** 町民が地下水湧水にもっと関心を持ち、保全に取り組もうという意識の醸成が重要である。町長の考えは。

**A** 町長  
森林の保全・育成に努める他、地域全体で地下水の保全に取り組んでまいりたい。



- ・新富士を帯水層とするものが最も多い。
- ・最近の研究では、古富士内を流れる地下水や古富士や基盤岩からの垂直方向の地下水の流れが示唆。

## 富士山の地下水のゆくえ



【出典:山梨県富士山科学研究所】





一般質問者 山下 利夫

# 一般質問

## イラン戦争がもたらす物価高・資材不足のもと、事業者を守る緊急対策を

**Q** アメリカとイスラエルによるイラン攻撃による影響により「とにかく石油に関わる資材が入ってこない。昨年物価高騰で苦しかったが、イラン攻撃以降は特に資金繰りが大変で、借金をしているより廃業したほうがよいと思ってしまう」「シンナーが入荷できず、塗装の仕事の依頼を受けることができない」「断熱材などが不足する可能性がある」「塩化ビニール管の入荷ができなくなり、工事が中止になった」「パソコンのケーブルの入荷が急に遅れ、仕事に遅れが生じ、お客様に迷惑がかかっている。資金繰りも苦しくなっている」など、事業者の状況は、かつてなく深刻である。

コロナ禍の時実施した富士河口湖町商工振興災害対策資金貸付を再度実施し、保証料や利子補助を行うとともに、収入が減少した事業者への支援金の実施を。

**A** **観光課長**  
国際情勢の緊迫化に伴う物価高騰や原材料・資材の不足などは、町内事業者の経営に影響を及ぼしている状況と受け止めている。町では、中小企業、小規模事業者の負担を軽減するため、山梨県が実施している商工業振興資金制度の貸付(今年5月から経済変動対策融資などの対象に中東情勢対応枠が新設)の決定を受けた法人または個人に対し、当該資金の利子補給(利子の7割。限度額10万円。期間は3年以内)を行っている。

さらなる追加支援は、町の財政規模では限界がある。国や県の動向を注視し、関係機関と緊密に連携しながら、町内事業者の経営継続に向けた相談対応や情報提供に努める。

## 夏休みなどの放課後児童クラブの昼食提供を

**Q** 給食のない夏休みなど長期休業中は、経済的に困難な家庭や、共働きの家庭などにおいては、栄養バランスの良い食事を十分摂れない子どもたちがいる。子どもたちの成長と健康のために、また、保護者の負担軽減のために、富士吉田市が行っているような、放課後児童クラブへのお弁当の提供を検討すべきだ。

なお、課題である児童支援員の確保のためには、国の補助も活用可能である。

**A** **子育て支援課長**  
昨年、放課後児童支援員と共に、富士吉田の提供方法等を踏まえて協議してきた。現状、長期休業期間中は、通常期間より利用人数が増え、開所時間も長いなかで、安全な昼食の提供には多くの実務が必要であり、現行の職員数では対応できない。補助金を活用した臨時職員の雇用も検討しているが、長期休業期間中のみの雇用に依じていただける人材の確保は困難である。

今後も他市町村の状況の調査研究、児童クラブ利用の保護者へのアンケートを実施していく。

## 町役場近くのコンビニ周辺の安全対策を

**Q** 町役場近くのコンビニ周辺では、大型バスが何台も路上駐車し、歩道は撮影する観光客であふれかえる状況が、常態化している。歩行や車の通行の安全確保のために、警備員の配置などの安全対策を。

**A** **都市整備課長**  
歩道から車道へ出たりする人の対策のために、山梨県と協議し、プランターを設置していただき、安全が確保されていると考える。また、観光バスが何台も連なり、長い間路上に駐停車して渋滞を起こしている場合には、富士吉田警察署が対応している。今後も、道路管理者の県と協議して、安全対策を講じていく。

## プラスチックやペットボトルの分別回収を

**Q** プラスチックやペットボトルのリサイクル推進は、イラン攻撃の影響で石油製品の流通が不安定になっているもとで、極めて重要な課題となっているが、現在、町では、リサイクルステーションなどで分別回収は行われているが、燃えるごみとしての回収が基本となっている。

昨年3月議会の一般質問では、当時の環境課長より、6年後に開設予定の新しいごみ焼却施設の建設に向けて、プラスチックやペットボトルをごみステーションで分別回収する方向で協議を進めている旨の答弁があった。しかし、分別回収の徹底には一定の時間がかかる。できるだけ早い時期にプラスチックやペットボトルの分別回収を開始すべきだ。

**A** **環境課長**  
本町では、令和8年3月に一般廃棄物処理基本計画を改定し、令和14年4月の新ごみ処理施設稼働に合わせて、缶、瓶、プラスチック類、ペットボトルのステーション回収を計画している。新ごみ処理施設ではプラスチック資源を適切に処理し、リサイクルを促進する設備を導入し、資源物の有効利用を行うこととなっている。それまでは、ペットボトル、発泡スチロール、食品トレーは、町内5か所のリサイクルセンター、リサイクルステーションを活用した分別回収を進める。



## 総務常任委員会

総務常任委員会の審議状況を報告します。

### 近年の町税収入の状況は

#### ●五味菊広委員

近年の観光需要の回復により、法人町民税、固定資産税、入湯税が増加傾向である。その要因と今後の見込みは。

#### ●税務課長

法人町民税は、令和5年度2億4,800万円、令和6年度3億500万円、令和7年度3億4,700万円と増加。コロナの収束、昨今のインバウンドを含む観光客数の増加が大きな要因と考える。

入湯税は、直近3か年は毎年1億3,000万円程度。現在の宿泊施設の状況からも、これ以上大きな伸びはないと推察する。

固定資産税は、直近3か年は増加。要因は、新築住宅が年間約200件建設されていること、景気の回復により企業の設備投資が活発になってきたことが大きいと考える。しばらくは増収が見込めると推察する。

#### ●五味菊広委員

税収増加の成果を、住民が「町がよかった」と実感できる生活基盤整備にどのように反映していくのか。

#### ●総務課長

近年、物価高騰や人件費の上昇などによる建設コストの増加に伴い、今後予定している保育所など大型公共施設の整備、老朽化対策、維持管理経費の増加が見込まれる。将来の財政需要や地方交付税の動向も見据え、事業の精査、優先順位を見極め、持続可能な財政運営に努める。

#### ●五味菊広委員

近年の税の徴収率と滞納額の推移、そして滞納整理の状況は。

#### ●税務課長

滞納額は、令和5年度1億2,555万円、令和6年度1億2,517万円、令和7年度1億2,088万円。徴収率は、令和5年度97.18%、令和6年度97.6%、令和7年度97.82%となっている。徴収率の上昇により、滞納額も毎年少なくなっている。

滞納整理については、普通預金、生命保険、各種還付金、自動車や不動産、給与の差押えなど(令和7年度は99件)を行い、それらを換価し、1,164万円を滞納額へ充当した。



### トライアスロンの準備状況は

#### ●渡辺昭一委員

今年9月6日に第5回のMt.富士トライアスロン大会が開催される予定だが、河口湖の渇水の影響が心配される。準備は順調か。

#### ●政策企画課長

河口湖の水位は依然として低いので、斜めにスイムのコースを変えるなど、関係者と調整し、開催に向けて進めている。



トライアスロン大会

### 物価高騰から事業者と労働者を守るルールを

#### ●山下利夫委員

物価高騰から事業者の経営、労働者の生活を守るため、2点伺う。①落札率は低い方が望ましいが、過度に低価格での受注は抑制を。②自治体発注の公共工事などにおいて、労働者の適正な賃金を確保し、公共サービスの質の向上を目的とする公契約条例の制定を。

#### ●総務課長

①最小の経費で発注を行うべく、入札が義務づけられている。町の入札では、実勢価格を踏まえた予定価格の設定を行っているが、資材価格の高騰等を踏まえ、やむを得ない場合は、国の通達に基づき、変更(増額)契約も行っている。また、工事発注では、最低制限価格制度をこの4月から設けており、さらなるダンピング対策や下請業者の適正な利潤確保につながると考える。

②公契約条例は、町発注の契約において、相手方に条例で定めた賃金額以上の賃金を労働者に支払うことを義務づけるもの。労働環境の改善は重要な問題であり、当該条例の趣旨や理念には賛同するが、問題解決には、最低賃金や労働基準法などに準拠し、国が統一的な検討をすべきと考える。



## 富士山火山避難マップの活用促進を

### ●山下利夫委員

富士山火山避難マップを活用した訓練は。

### ●地域防災課長

本年度、富士山火山防災協議会で予定している訓練は、6月15日の富士山の五合目における初期対応訓練、9月予定の富士山噴火を想定した避難訓練、12月予定の河口湖湖畔周辺で富士山噴火に備えた初期対応訓練など。

### ●山下利夫委員

防災アプリで、富士山火山避難マップや土砂災害警戒区域などをいつでも見ることができることをもっと周知を。

### ●地域防災課長

現在、防災アプリは9,293人がダウンロードしている。さらに詳しく広報等で紹介していく。



## 文教社会常任委員会

文教社会常任委員会の審議状況を報告します。

## 企業版ふるさと納税は ステラの財源になるのか

### ●三浦康夫委員

ステラシアターイベント実行委員会補助金は、企業版ふるさと納税による協賛金とは別のものか。

### ●文化振興局長

ステラシアターイベント実行委員会の収入については協賛金を予定している。企業版ふるさと納税の寄附金については、別途、富士河口湖町音楽のまちづくり実行委員会の歳入として予定している。

## 特別養護老人ホームの待機者

### ●山下利夫委員

特別養護老人ホームの入所を待っている方、いわゆる待機者は何人いるのか。

### ●健康増進課長

毎年夏に行われている調査では、施設入所の申込みをされている方は約140名となっている。

### ●山下利夫委員

この人数は長く減っていない状況だと思う。在宅介護が困難になり、施設入所を望んでも入所できない方もいる。次期介護保険事業計画の中でどのように検討していくのか。

### ●健康増進課長

特別養護老人ホームなどの施設サービスは、在宅介護が困難となった高齢者を受け入れる重要な基盤である。次期計画の策定に当たっては、高齢化の推移と待機者140名の状況を十分勘案し、適正な施設整備量とサービス量が確保できるよう、県や近隣市町村と連携・

調整を図りながら検討を進めていく。

## 指定日以外のごみ出しは不法投棄

### ●渡辺昭一委員

一部のごみステーションで指定日以外のごみ出しがあり、ごみが滞留している。生活環境の悪化、悪臭や衛生面、景観の低下、地域内の不公平感にもつながるが、町は状況を把握しているか。

### ●環境課長

指定日以外にごみ出しがされている状況について、町でも把握している。

### ●渡辺昭一委員

具体的にどのように対応しているのか。

### ●環境課長

指定日以外のごみステーションへのごみ出しは、不法投棄に当たる可能性がある。不法投棄は違法行為であり、町としても厳正に対応している。町では、不法投棄ごみに違反シールを貼り、適切な方法で処理するよう持ち帰りを促している。違反者が判明した場合は撤去を求め、悪質な場合は警察への通報も含め対応している。また、個々のケースに応じて注意掲示物の作成も行っている。



ゴミステーション

## 生ごみ処理機補助の内容

### ●三浦康夫委員

令和8年度の生ごみ処理に対する補助金130万円について、その内訳は。

### ●環境課長

生ごみ処理機、または容器の購入補助金である。令和8年度は家庭用として16件の申請を見込み、1件当たり2万5,000円を予定している。業務用については1件100万円を予定している。

## 部活動の地域展開

### ●山下利夫委員

部活動地域展開にあたる事務員やアドバイザーは、大変重要な役割を担うと思うが、具体的にどのような役割を担うのか。

### ●生涯学習課長

現在、部活動地域展開推進協議会準備会の資料作成や開催、協議会設立に向けた各種作業、関係機関との調整・連絡などを行ってもらっている。あわせて、協議会と部活動地域展開に関する事務全般を担っている。



## 合併浄化槽補助の現況

### ●三浦康夫委員

下水道事業の事業区域の見直しを進める中で、今後、合併浄化槽設置の要望が増える可能性がある。令和6年度、7年度の補助金事業の概要は。

### ●環境課長

合併浄化槽補助金は、令和6年度が18件の申請で781万3,863円、令和7年度が13件の申請で448万円を交付している。

### ●三浦康夫委員

人槽によって補助金額はどのように変わるのか。

### ●環境課長

人槽は5人槽、7人槽、10人槽に分かれている。5人槽は33万2,000円、7人槽は41万4,000円、10人槽以上については54万8,000円である。

### ●三浦康夫委員

令和8年度は、現時点でどのような申請状況になっているのか。

### ●環境課長

令和8年度については、現時点で5人槽の申請が3件、7人槽の申請が0件、10人槽以上の申請が1件となっている。

## 太陽光発電・蓄電池補助に関して

### ●三浦康夫委員

粟井環境財団から町へ環境整備のため2,000万円の補助金が出ているがどのように使われているのか。

また、太陽光発電と蓄電池は何年度から補助対象になったのか。

### ●環境課長

令和8年度分はまだ確定していないため、令和7年度の内訳で説明すると、2,000万円のうち、花トピア事業が1,100万円、情報発信事業が220万円、太陽光発電補助が680万円である。

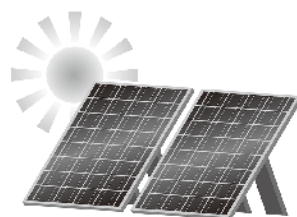
太陽光パネル補助は平成19年度から、蓄電池補助は令和5年度から開始している。

### ●三浦康夫委員

電気料金が上がる中で、太陽光発電と蓄電池を住宅に設置する費用は大きい。町の補助と国や県の補助は併用できるのか。また、金額はどの程度か。

### ●環境課長

町の補助金と県・国の補助金は併用可能である。県の補助金は、太陽光パネルが1キロワット当たり3万円で上限27万円、蓄電池が1台25万円である。国の補助金は、ソーラーパネルは現在行っておらず、蓄電池のみで1キロワット当たり3万4,500円、上限60万円となっている。



## 犬のふん

### ●古屋実委員

飼い犬のふん放置により、住民同士のトラブルや地域のストレスが生じている。通学路や庭先などで困っている住民もいるが、町はこの問題を把握し、どのような対策をしているのか。

### ●環境課長

委員ご指摘の件については把握している。犬のふんの後始末は飼い主のモラルの問題であり、町では犬の登録を管理しているため、予防接種の通知などの機会に、ふんの後始末についても周知していきたい。苦情があった場合は環境課で随時相談を受け、今回の件についても周辺パトロールを行っている。

### ●古屋実委員

毎日のように犬のふんを片づけている住民の負担やストレスは大きい。今後も相談しながら対応してほしい。

### ●環境課長

環境課として、その都度、随時対応していく。





## 産経土木常任委員会

産経土木常任委員会の審議状況を報告します。

### 事業者の意向を聞く宿泊税

#### ●外川満委員

宿泊税に関する事業者アンケートをウェブ方式で実施するとのことだが、高い回収率を確保することが重要。周知方法やどのような実施計画を考えているのか。

#### ●観光課長

宿泊税は、来年度からの実施に向けて、事務を進めている。これに合わせ観光計画を策定する。推進会議やワーキンググループで議論を重ね、宿泊税の効果的な活用方法と観光施策の方向性を示す。また、700件以上が見込まれる事業者向けのアンケートを幅広く実施し、重点事業を明確にする。

### 森林保全と林道整備

#### ●五味菊広委員

北岸の森林地域は、林道が未整備で、間伐や木材搬出が困難な状況。森林環境譲与税を活用し、森林整備や所有者の負担軽減、木材搬出を進めるための基盤整備など、積極的に取り組んでいただきたいが、町の意向は。

#### ●農林課長

森林環境譲与税の使い道は、各自治体の裁量に任されている。今後も所有者の意向を聞きながら、森林整備に必要な施策や木材の利用普及に努めていく。

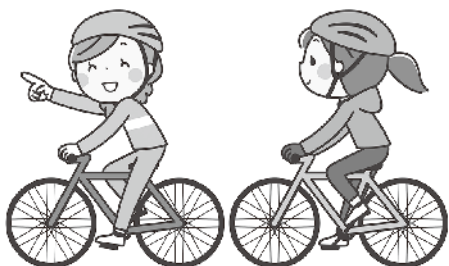
### 観光客のサイクリングのマナー

#### ●三浦康夫委員

最近サイクリングを楽しむ旅行者が増加している。一方で、ヘルメット未着用の利用者も見受けられ、安全面も懸念される。今後の利用増加を見据え、交通ルールの周知や事故防止に向けてどのような対策を講じる考えか。

#### ●観光課長

昨年度時点でレンタサイクル業者は27事業者。今後も引き続き、警察署と協力しながら、レンタサイクル事業者、交通マナーの遵守について周知・啓発を行うよう指導していく。



### 災害対策資金貸付の利子補給

#### ●三浦康夫委員

コロナ時の災害対策資金貸付けの返済の状況は。

#### ●観光課長

コロナ禍において実施した災害対策資金貸付の利子補給は、令和8年4月で、貸付けは全て完済となっている。

### 耐震シェルター補助

#### ●三浦康夫委員

木造住宅の耐震シェルター設置の補助金の実績は。

#### ●都市整備課長

耐震シェルター設置補助金は、令和6年より始まったが、今現在、利用者はない。今後予想される災害に備えるため、さらに周知し、この事業を進める。



耐震シェルターの一例

### 地籍調査

#### ●三浦康夫委員

地籍調査の進捗状況と成果並びに今後の予定は。

#### ●農林課長

富士ヶ嶺の第5地区は最終取りまとめを行っており、間もなく県へ承認を上げる予定。河口の第2地区は、次の承認予定となっている。今後は、富士ヶ嶺の第11地区、浅川地区、船津第1地区を予定している。

### 土石流対策

#### ●井出正広委員

土石流対策が進んでいないところがあるようだが。

#### ●都市整備課長

土石流対策については、県の事業になるので、場所等教えていただきながら、県とも情報を共有し、安全対策を行いたい。

# 公開します 議員の賛否

## 審議した議案とその結果



●令和8年 6月定例会 会期：6/9(火)～6/16(火) 8日間●

●本会議 議案審議 (6/9、6/16) ・一般質問 (6/9、6/10)

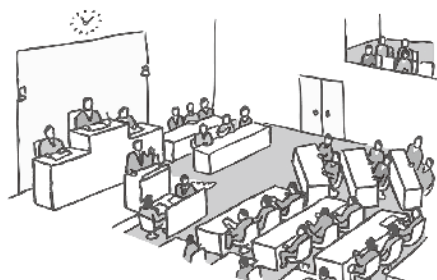
●常任委員会 (6/11、6/12)

| 上程議案・概要・結果                                                          | 結  | 倉 | 中  | 楽 | 渡 | 倉 | 五 | 堀 | 中 | 古 | 井 | 外 | 渡  | 渡 | 中 | 山 | 三 |
|---------------------------------------------------------------------|----|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|
| 賛成：○ 反対：× 討論：討<br>欠席：欠 棄権：棄<br>全賛：全員賛成で可決・認定・採択<br>賛多：賛成多数で可決・認定・採択 | 果  | 沢 | 村  | 満 | 辺 | 沢 | 味 | 内 | 村 | 屋 | 出 | 川 | 辺  | 辺 | 野 | 下 | 浦 |
|                                                                     |    | 直 | 正  | 一 | 昭 | 秀 | 菊 | 詠 | 拓 | 実 | 正 | 満 | 武  | 美 | 貴 | 利 | 康 |
|                                                                     |    | 哉 | 明  | 生 | 一 | 秀 | 広 | 子 | 郎 |   | 広 |   | 則  | 雄 | 民 | 夫 | 夫 |
| 専決処分の報告及び承認                                                         |    |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   |   |   |
| 富士河口湖町税条例の一部改正                                                      | 賛多 | ○ | ○討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | × | ○ | ○ | ○  | ○ | 欠 | × | ○ |
| 富士河口湖町国民健康保険税条例の一部改正                                                | 賛多 | ○ | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | × | ○ | ○ | ○討 | ○ | 欠 | × | ○ |

\*議長（中村拓郎議員）は採決には参加しません。

\*議長は賛否同数の場合のみ、議長採決として賛否表明します。

| 報 告                                        | 結果 |
|--------------------------------------------|----|
| 令和7年度 富士河口湖町介護保険<br>特別会計予算繰越明許費繰越計算書 P2    | 全賛 |
| 令和7年度<br>富士河口湖町水道事業会計予算繰越計算書 P2            | 全賛 |
| 令和7年度<br>河口湖簡易水道事業会計予算繰越計算書 P2             | 全賛 |
| 令和7年度<br>足和田簡易水道事業会計予算繰越計算書 P2             | 全賛 |
| 令和7年度 富士河口湖町温泉事業<br>特別会計予算繰越明許費繰越計算書 P2    | 全賛 |
| 令和7年度 富士河口湖町一般会計予算繰越<br>明許費繰越計算書 P2        | 全賛 |
| 条例制定                                       |    |
| 富士河口湖町特定乳児等通園支援事業の運営に<br>関する基準を定める条例の制定 P2 | 全賛 |
| 町道の路線認定                                    |    |
| 路線番号6550の認定 P2                             | 全賛 |



| 工事請負契約の締結                         |    |
|-----------------------------------|----|
| 大石公園トイレ新築工事 P2                    | 全賛 |
| 財産の取得                             |    |
| 財産の取得（消防自動車） P2                   | 全賛 |
| 財産の取得（マイクロバス） P2                  | 全賛 |
| 補正予算                              |    |
| 介護保険特別会計補正予算（第1号） 254万円増          | 全賛 |
| 介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）<br>87万円増    | 全賛 |
| 勝山墓地事業特別会計補正予算（第1号）<br>88万円増      | 全賛 |
| 温泉事業特別会計補正予算（第1号） 400万円増          | 全賛 |
| 温泉事業特別会計補正予算（第2号） 407万円増          | 全賛 |
| 一般会計補正予算（第1号） 5億2,318万円増          | 全賛 |
| 一般会計補正予算（第2号） 543万円増              | 全賛 |
| 同意案件                              |    |
| 本栖財産区管理委員選任同意 P2                  | 全賛 |
| 富士ヶ嶺財産区管理委員選任同意 P2                | 全賛 |
| 大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区<br>管理委員選任同意 P2 | 全賛 |



# ふるさと納税の取組について、 県外視察研修を実施しました！

【5/20～5/21・茨城県 八千代町・下妻市】



近年、地方自治体において流動性はあるものの期待できる財源として注目されている「ふるさと納税」。

富士河口湖町では、納税額が増額傾向にあります。さらなる増額を目指し、政策提言等に役立てることを目的として、近年、顕著な増額となっている茨城県八千代町と下妻市の両市町において民間活動の母体となっている会社のふるさと納税の取組を視察しました。

現地では、民間活動母体会社「有限会社スズランロードハウス」代表取締役の生井浩司氏に講師として、また富士河口湖町地方創生アドバイザーの渡邊竜一氏に随行として参加いただきました。



八千代町では、「八千代グリーンビレッジ」内の未利用となっていた農産物加工所を活用し、開所したばかりのふるさと納税返礼品加工施設を視察しました。

施設内では、生井氏から加工設備などの説明がされました。



下妻市では、当市のふるさと納税返礼品加工の核となって稼働している「工房Wemam」を視察しました。

実際に加工している状況や加工設備などを、生井氏の説明を受けながら視察しました。



視察後、座学研修が行われ、生井氏から説明後の質疑応答では、活発な意見交換が行われました。

## 自治功労者表彰式及び 町村議会議員研修会

令和8年5月22日、山梨県自治会館において、自治功労者表彰及び町村議会議員研修会が行われました。自治功労者表彰式では、富士河口湖町議会の外川満議員へ自治功労者表彰が贈られました。その後、「なり手不足論と議会」と題し、東京大学大学院法学政治学研究科 金井利之教授による講演がありました。



## 全国町村議会議長・副議長研修会

令和8年5月26日、東京国際フォーラムにおいて、全国町村議会議長・副議長研修会が行われ、中村議長と堀内副議長が出席しました。



## 『地域で育む ―こどもら20周年に寄せて―』

20年前、富士河口湖町に新たな社会教育施設として「子ども未来創造館（愛称・こどもら）」が誕生した。

こどもらができる以前、母たちによるボランティア団体「FKIはんず」の皆さんが、「富士河口湖町の母子がより良く暮らしていくために、どのような施設が必要か」を真剣に考え、会議や視察を重ねながら構想を築いてくださっていた。その思いの上に、こどもらはスタートした。

開館当初、幼児期支援の専門性を持つ尾崎さんと、初等教育や児童館経験を持つ私との二人三脚の日々が始まった。試行錯誤を重ねながら、お母さんたちの笑顔のために歩み、乳幼児親子への支援や、町で初めて小学3年生以上を対象とした放課後児童クラブの開設にも取り組んできた。近年ではお父さんたちが熱心に育児に参加される姿も多く見られるようになり、こどもらが世代だけでなく、多様な家族の形を包み込む場所へと育っていることを実感する。

私自身もその年月の中で、現在19歳、17歳、14歳となった三人の子を育ててきた。わが子たちもまた、こどもらと地域に育ててもらったという実感がある。そして今、私は教員として地域の小学校の教壇に立っている。当時、こどもらに赤ちゃんとして通っていた子どもたちのお母さんが学校の保護者となり、共に子どもたちの成長を支えてくれている。また、当時利用者だった子ども自身も大人となり、共に働く仲間となっている。

支援する側、支援される側という関係を越え、人が育ち、地域の中でつながり続けていること。そして、地域に育てられた子どもたちが次の世代を支える存在になっていることに、こどもらが積み重ねてきた時間の尊さを感じている。

こどもらが20年間大切にしてきたものがある。それは、時間、空間、仲間からなる「三つの間」である。そうした営みが、富士河口湖町の子どもたちの育ちを支えている。

「行き場がなければ、こどもらにおいてよ。」そんな思いで、多くの親子や子どもたちと関わってきた。

そして、開館の立ち上げから今日に至るまで、この20年こどもらに関わってきた全てのスタッフに心から敬意を表したい。スタッフ一人ひとりが紡いできた思いがあるからこそ、今のこどもらがある。

こどもら20周年に感謝を込めて。富士河口湖町がこれからも子育て支援の町として歩みを進め、地域全体で子どもたちの育ちを支え続ける町であり続けることを願っている。

今日もこどもらには、赤ちゃんを連れたお父さんやお母さんたちの「おはよう」と、小学生の「ただいま」が響いている。

その何気ない日常こそが地域の力なのだ。これからも、地域の子どもは、地域で育つ。



## 議会 見・聞・録

### 『富士河口湖町議会を傍聴して!』

幼なじみで、同級生の議会議員が初質問をと言う事で、富士河口湖町議会の傍聴に行ってきました。議場に入るのも初めての事ですが、正面に議長さん他行政側（執行部）、議会議員の方々は後ろ姿ですが、両者の真剣且つ、独特の臨場感がありました。私の同級生は、最初の質問に立たれました。限られた時間内に丁寧に質問し、行政側の回答、再度の質問、回答と町政に関わるいろいろな議事が丁寧に進められていました。途中、小学生の傍聴見学もあったり、明るく開かれた議会といった印象でした。

河口湖で生まれ45年間は河口湖町民でした。現在私は、他村に住んでいますが、仕事場所の1つが富士河口湖にある為、今現在行き来しております。他村に出たからこそ、この富士河口湖の魅力、良さも今は実感しています。町民ファーストで住みやすく町民の幸せを感じる町、そして開かれた町政、そんな富士河口湖を守り続け、そして前進させてくれる事を、他村より富士河口湖町議会に期待しております。（天野 政幸）

## 編集後記

6月定例会では、町民生活に関わるさまざまな議案や補正予算について、活発な議論が交わされました。本号では、その審議内容や一般質問の概要を中心に、議会でのどのような議論が行われたのかを分かりやすくお伝えできるよう努めました。議会だよりが、議会活動をより身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。社会情勢や地域を取り巻く環境が変化する中、議会には町民の皆様の声を町政へつなぐ役割が求められています。今後も、一つ一つの議案を丁寧に審議し、開かれた議会を目指して情報発信に努めてまいります。引き続き、議会だよりへのご意見や感想をお寄せいただければ幸いです。

（堀内 詠子）

編集：議会広報常任委員会

委員長：渡辺 昭一 副委員長：中村 正明

委員：柴満 一生、五味 菊広、堀内 詠子

古屋 実、外川 満、山下 利夫